

親子聖書日課

[日]伝道するのは、「私のように」欲しいからです。それは、主の救いの恵みを私のように経験して欲しいからです。パウロは「頭がおかしい」と誤解されても、ためらわず伝道しました。「私のようにならないで」これでは伝道になりません。

[月]百人隊長は聖霊に導かれたパウロの言葉より、船長や船主の経験に基づく言葉を信じて豪風に遭い、難船しました。御言葉より、常識に頼る人は失敗します。「主の言葉に従います」御言葉への謙遜さを持つなら、試練も乗り越えられます。

[火]主に聴き従うことによってリーダーとされた者は、他人の気づかない危険をいち早く察知して、適切な手を打たなくてはなりません。パウロは船員の逃亡を防ぎ、一同に食事をさせ、全員を無事上陸させました。それは聖霊に示されたからです。

[水]マルタ島の人々はマムシにかまれたパウロのことを「人殺しだ」「神様だ」と色々なことを言いました。しかし、彼は病人を癒し、人々に仕えただけです。人の評価を気にしては、主のために働くことはできません。パウロに倣いましょう。

[木]パウロは憧れのローマに着き、そこでも主を伝え、諸教会に手紙を書きました。これで使徒言行録は終わりますが、この続きは私達に託されました。今日も同じ聖霊が働いています。使徒達のように大胆に伝道するなら、救霊の業が進みます。

[金]私達に「果たすべき責任(返すべき負債)」があることを知っていますか。それは福音を伝え、救いに導く責任です。家族、友人だけではなく、世界中の人に福音を伝える責任があります。この重大な責任を、主の力を頂いて、果たしましょう。

[土]良い行いをしたから救われるのではなく、ただ主を信じるだけで救われます。それは神の力がダイナマイトのように、私達の罪を吹き飛ばすからです。福音を恥じてはいけません。むしろ福音を誇るなら、主の救いの喜びを経験できます。



NO.1972 2026.7/12-18

名前

	聖書	問 題	答 え
日	使徒言行録 26:19-32	すべての方が誰のようになつて下さることをパウロは祈りましたか。	
月	27:1-26	百人隊長は誰の方を信用しましたか。	
火	27:27-44	船は失うが、皆さんのうち誰一人として何を失う者はないですか。	
水	28:1-16	パウロは何にかまれたが、何の害も受けませんでしたか。	
木	28:17-31	パウロは誰について教え続けましたか。	
金	ローマ 1:1-15	果たすべき何がありますか。	
土	1:16-32	福音は信じる者すべてに救いをもたらす何ですか。	
感想と祈りの課題			